

外部評価対応シート

担当部局名	教育委員会事務局・生涯学習課				
施策名	施策9 生涯学習推進体制の強化				
施策の目的	生涯学習環境の整備を通じ、市民一人ひとりが自分の持つ夢や希望を実現するために、生涯にわたる学びの精神を養えるようにします。				
検討する事項	担当課(部局)の対応			工程表	
講座参加者へのアンケート集計だけでなく、講座関係者へのアンケートを相互に実施、ニーズ等の分析を行い「まなびを通じつながりひろがり人と地域を育むまちとだ」の理念にある事業実施が必要である。	いつまでに	平成28年度までに (第3次生涯学習推進計画終了年度)	26年度	アンケートの実施とともに「生涯学習市民意識調査」の手法を検討する。	年度
	どのような方法で	各種講座終了時、参加者にはアンケートを行い講座の企画・運営に活かしていた。今後は、それに加えて講師や講座運営にかかわる生涯学習サポーター(ボランティア)にもアンケートを行い、その集計結果により講座運営にかかわる意見や市民の学習ニーズの把握を図る。	27年度	各種講座や人材バンク「人材の森公開講座」の開催時にアンケート調査を実施するとともに、「生涯学習市民意識調査」を実施し、市民ニーズ等のより詳細な分析を行う。	年度
	どうするのか	講座参加者や講座関係者へのアンケート結果をもとに、市民ニーズ等の分析を行い、第3次生涯学習推進計画の基本理念に沿った学習体系の構築を図る。	28年度	講座のアンケート調査、「生涯学習市民意識調査」の分析を踏まえて、現行の計画の基本理念に沿った事業を展開していく。併せて、平成29年度からスタートする第4次生涯学習推進計画を策定する。	年度
	対応できない場合の理由、代替案		年度		年度
施策の主な取り組み①市民大学実施体制の整備に変化が見られないため、実施体制の整備が必要である。	いつまでに	平成26年度中に設置	26年度	市民大学運営委員会に市民委員が参加する。市民が参画した市民大学認定講座の企画・運営を自ら行うなど、市民大学の運営を担う一員として加わった実施体制の整備を進める。	年度
	どのような方法で	市民との協働による市民大学の運営を推進し、生涯学習体制の構築を進めることで、市民大学実施体制の整備を図る。	27年度		年度
	どうするのか	市民が講座の企画・運営を行うとともに、市民大学運営委員会へ市民委員として参加するなど、協働により事業を展開していくための体制整備の充実を図る。	年度		年度
	対応できない場合の理由、代替案		年度		年度
	いつまでに		26年度		年度
	どのような方法で		27年度		年度
	どうするのか		年度		年度
	対応できない場合の理由、代替案		年度		年度
外部評価を通じて気付いた点 (今後、行政評価をするにあたっての改善する点など)	外部評価では、生涯学習環境の充実を目指し、市民ニーズの把握や市民大学実施体制の整備を進めるよう指摘があった。今後は、さらに市民ニーズを把握する方法や、より効果的な市民大学実施体制づくりを充実させるとともに、施策の目的に沿った事業となっているのかを意識しながら事業を実施していく。次期の戸田市総合振興計画策定時には、施策指標等の着目点を熟考し、事業の成果が測れるような手法を検討していく。				